

労使研

「情報」第50号 2016年 1月

労使関係研究協会
〒105-0014 東京都港区芝 2丁目
20番12号 (友愛会館8階)
電話：03-3453-5386
FAX：03-3451-1710
関西支局
〒550-0001 大阪市西区土佐堀
1丁目6番3号
(JAM 西日本会館内)
電話：06-6225-2881

謹賀新年



Hukio Koide



労使関係研究協会の会員を始め、ご支援を賜っております各産別傘下の皆さん、あけましておめでとうございます。

新しい年を迎えて、一般財団法人日本労働会館を代表してご挨拶を申し上げます。

世界の環境が、国家の破綻や、民族問題から生じるテロの攻撃、ロシアのクリミア半島の併合問題、更に、中国の台頭と米国の衰退から生じる世界のバランスの変化等、一段と厳しくなる中、安倍体制は、ますます右傾化の様相を呈し、日本ももはやこの環境の変化に完全に飲み込まれてきました。

そのような環境の中で、財団法人日本労働会館は、2013年（平成25年）に、一般財団法人に移行して、今年で、4年目の活動に入ります。移行前の財団法人時代は、労使関係研究協会を中心とした活動が中心でしたが、移行後は、友愛労働歴史館の運営を基軸にした、一般財団法人日本労働会館として、再スタートし、3年が経過、漸く、定着した活動が展開されるようになってきました。

特に友愛労働歴史館を本格的に立ち上げて以降の見学者は、開設以来5千5百人を数えて、大きな成果を上げております。又、労使関係研究協会の活動の一環として戦後の労働運動を映像に残すということで取り組んできた労働講座も3年間で、17回の講座を開設し定着をしてきました。

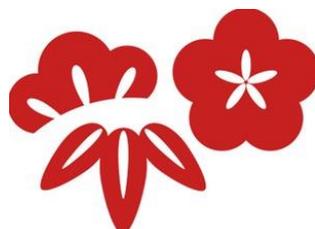
ひとえに皆さん方のご支援の賜物と改めてご協力に感謝申し上げます。

加えて、収益事業として稼働してきた宿泊事業は、漸く利益体質への見通しが立ち4年後の東京オリンピック・パラリンピックまでは、宿泊者の増大が望める見通しです。予断は許しませんが、安心・安全・安価の三つの“安”をモットウに邁進を図りたいと思います。

2016年の活動も、会員の皆さんを始めとして、関係者の皆さんのご支援を改めて、お願いを申し上げます。



一般財団法人日本労働会館
理事長 小出幸男



友愛労働歴史館の活動（2015年9月～12月）

1. 展示会（常設展・企画展）活動

友愛労働歴史館は展示会活動として常設展と企画展（年2回）を開催しており、常設展「日本労働運動の100年余一友愛会・総同盟(戦前)を中心とする」は通年開催しています。

7月21日から企画展「赤松常子—婦人運動・社会運動に生きた生涯—」（2015.07.21～2015.11.30）を、12月7日から旧全労・旧同盟の文化運動・レクリエーション活動を担った全文協（全国文化運動協会）の結成60年を記念して企画展「全文協結成から60年、その今日的意義を探る」（2015.12.07～2016.05.31）を開催しています。

3月から11月までの友愛労働歴史館入館者数は、824名（3月51名、4月45名、5月115名、6月72名、7月70名、8月108名、9月99名、10月94名、11月170名）でした。2012.08.01のオープン以来の延べ入館者数は、5448名。

①「赤松常子」展

と き：2015年7月21日（火）～2015年11月30日（月）

ところ：友愛労働歴史館・展示室

テーマ：「赤松常子—婦人運動・社会運動に生きた生涯—」

内 容：第1部「赤松常子・その人と生涯 1897～1965年」

第2部「婦人解放運動に取り組んだ赤松常子—戦前の運動—」

第3部「政治家、婦人活動家として生きた赤松常子—戦後の運動—」

第4部「赤松常子の短歌、ゆかりの歌人たち」

②「全文協60年」展

と き：2015年12月7日（月）～2016年5月31日（火）

ところ：友愛労働歴史館・展示室

テーマ：「全文協結成から60年、その今日的意義を探る」

内 容：第1部「新しい国民文化の創造をめざした全文協—全文協41年略史—」

第2部「民主的労働運動の文化運動」

第3部「よび合うこだま運動、全文協文化リーダー研修会、同劇団こだま」

第4部「大阪全文協—その歴史と活動—」

2. 講演会活動

労使関係研究協会と共催で、時宜をとらえ、また企画展と連動させた講演会を開催しています。

「鈴木文治生誕130年」記念講演会

名 称：「友愛会創立と総同盟会長辞任後の鈴木文治」

と き：2015年9月4日（金）14：00～16：00

講 師：芳賀 清明 友愛労働歴史館研究員・労働運動史研究者

ところ：友愛労働歴史館・研修室

3. 調査・研究活動

友愛労働歴史館は、常設委員会として「ユニテリアンと社会運動研究会」、「政治・社会運動史研究会」を設置し、調査・研究活動を行っています。

「第5回政治・社会運動史研究会」

名 称：「民社党時代を語る—共通テーマ—」
と き：2015年11月4日（木）13：30～15：30
講 師：荒木 幹郎 元武蔵野市議会議員
と ころ：友愛労働歴史館・研修室

労使関係研究協会の活動（2015年9月～12月）

労組関係研究協会の2015年9月以降の活動は、労働講座で「新産業別最低賃金への転換」を取り上げました。最低賃金制度を全国に展開する先導的役割を担って他産業別最低賃金が、関係労使による機関労働者の最低賃金に転換していった経過を報告してもらいました。研究会は時宜にあったマイナンバー制の勉強、研修会は海自舞鶴基地で鑑定見学でした。

① 第17回労働講座

日 時：2015年11月24日（火）14：00～16：00
会 場：友愛労働歴史館研修室
テーマ：「新産業別最低賃金への転換」
講 師：北浦 正行 氏
（武蔵大学客員教授、日本生産性本部参与、
（社）日本テレワーク協会副会長）

② 第77回講演会（関西）

日 時：2015年9月8日（火）14：00～16：00
場 所：JAM西日本会館
テーマ：「マイナンバー制度とは、暮らしへの影響は！」
講 師：井戸本 泰次氏（日本税理士政治連盟元筆頭副幹事長）

③ 第78回研修会（関西）

日 時：2015年12月15日（火）13：30～16：00
場 所：海上自衛隊舞鶴地方総監部
内 容：1）施設概要説明、
2）艦艇見学
3）懇談

